

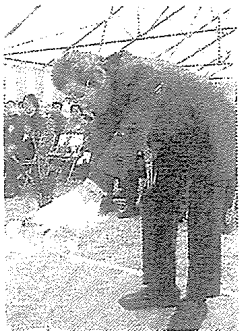
相生会・福岡みらい病院が起工

日本一のリハビリ施設

設計・監理 安井建設  
 エコフジタ 15年開院



あいさつする浦江代表



初初の入江理事長



穿初めの佐野社長



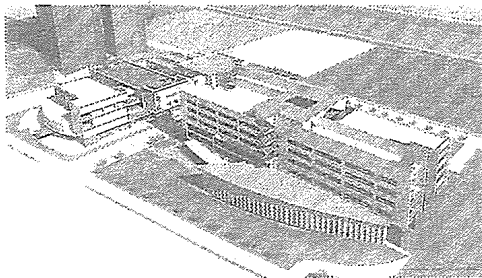
杭打ちの工藤支店長

院を目指す。

起工式では、初初め（かりぞ）の儀を相生会の入江伸理理事長、穿初め（うがちぞめ）の儀の鍬（くわ）を相生会の佐渡島省三新吉塚病院院長、鋤（すき）入れを安井建設設計事務所佐野吉彦社長が行った。この後、フジタ九州支店の工藤強執行役員支店長が小山仁司作業所長を介添えに杭を打ち込み、工事中の安全と無事竣工を祈願した。

医療法人相生会（福岡市博多区）が整備する「福岡みらい病院新築工事」の起工式が3日、福岡市東区の建設地で開かれた。設計・監理は安井建設設計事務所、フジタが施工する。2015年6月の開

式の後、あいさつした相生



北西側から見た完成予想

設計意図を紹介した。

工藤執行役員支店長は「最大限努力し、完成後にフジタで良かったと言ってもらえるような仕事をしたい」と抱負を語った。

浦江代表は「スタッフ全員が全力を尽くし、地域に必要とされ、愛される施設にしたい」と新病院への夢を語った。

佐野社長は「日本一のリハビリ機能のほか、まちのリビングとして、市民が気軽に立ち寄れる施設計画にした」と方針。

規模はRC・S造7階建て延べ2万1637平方メートル。病床数は338床。高度・多機能型リハビリテーション施設としてリハビリテーションの技術革新や改善に向けた臨床研究を積極的に実施するほか、アジアなど海外から研修生を受け入れ、国際的な人材を育成する。福岡市が近隣に計画する新病院（こども病院）との医療連携も確立する。建設地は東区香椎照葉3-26-15の敷地1万8060平方メートル。